

# Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

NO. 2

平成28年5月10日

編集・発行

学校支援課 広報担当

## 生まれ変わった「新潟市の授業づくり」

学力，生徒指導，特別支援教育を一体に！



「選択と集中」「やりきる」で  
学校が変わる！！

4年ぶりに「新潟市の授業づくり」リーフレットを改訂し、各学校に配付しました。

一日の学校生活の中心は授業です。児童生徒が最も多くの時間を過ごす授業の中で、学力の形成はもちろんのこと、今求められている生徒指導及び特別支援教育の充実を図っていくことが大切です。

## 授業の三つのフレームワーク

授業例

各段階の意義  
と留意点

「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業 三つのフレームワーク

※教科・領域の特質や単元・単時のねらい、児童生徒の実態等に合わせて、適切なフレームワークを弾力的に適用します。

【問題解決型】 全ての領域の基本型	【技能習得型】 〜である、を習得のねらいとして設定する場合	【単元型】 2学期後半の単元（1学期前半）
<p><b>問題提示</b></p> <p><b>学習課題</b></p> <p><b>まとめ</b></p> <p><b>振り返り</b></p>	<p><b>問題提示</b></p> <p><b>学習課題</b></p> <p><b>まとめ</b></p> <p><b>振り返り</b></p>	<p><b>問題提示</b></p> <p><b>学習課題</b></p> <p><b>まとめ</b></p> <p><b>振り返り</b></p>

型に当てはめるのではなく、授業のねらいや子どもの実態に即して考え、工夫することが大切です。



リーフレットでは、授業の三つのフレームワークを示しています。

三つのフレームワークは、あくまでも「授業展開の考え方の基本的な型」です。必ずこれらにぴったりと当てはめなければならないということではありません。各教科・領域の特質や授業のねらい・児童生徒の実態等に合わせてこれらのフレームワークを弾力的に適用したり、授業方法を工夫したりしながら授業づくりを行うことが大切です。

# 授業づくりで大切にしたいこと ～三つの重点～

### 優れた学習課題とアクティブ・ラーニング

内容性、情意性、集団性の高い、優れた学習課題を設定します。

- ・内容性…学習課題の求める内容が、学習指導要領に示されている指導内容的確に対応している。
- ・情意性…子どもの興味・関心や問題意識、必要感を基に設定されている。
- ・集団性…学校全体が追究に向けての意欲をもっており、子ども同士がかわる必要がある。

優れた学習課題を設定することで、児童生徒に主体性が発揮され、対話によって協働性が生まれ、学習が深まります。

アクティブ・ラーニングを繰り返すことで思考力・判断力・表現力が高まり、協働して問題を解決する力が身に付いていきます。

### 「学び」を自覚する振り返り

授業の終末や単元の節目の時間に振り返りの場を計画的に設定し、次の三つの「学び」を自覚できるようにします。

多くの児童・A・B・Cの振り返りは独立した形で行われます。多くの児童は、A・B・Cの振り返りを統合して行うべきです。

### 重点1 優れた学習課題(学習課題の質を高める)

内容性、情意性、集団性の面から学習課題を検討し、その質を高めることに取り組んだ結果、児童生徒が主体的に追究する姿の見られる授業が増えています。

### 重点2 アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング成立のための要件は、「主体性」「対話」「深まり」。児童生徒に「主体性」が発揮されているか、「対話」があるか、学習に「深まり」があるかを確認しながらアクティブ・ラーニングをつくっていくことが大切です。

### 重点3 振り返り

振り返りでは次の三つの学びの自覚を目指します。

- A 解決した過程・学び方 (どのように学んだか)
- B 獲得した知識や技能 (何が分かり、できたか)
- C 情意 (分かった・できた喜び、学ぶ楽しさ)

特に、自分の学び方を自覚し他の学習場面にも生かしていくことのできるAの学びの振り返りが大切です。

これらの振り返りを毎時間行うのは極めて困難です。単元の終末や節目の時間に位置付けるなど計画的に行います。また、**家庭学習**として取り組むのも有効です。

### 「選択と集中」「やりきる」で成果をあげる

どの教科でも、学習課題とまとめを位置づけた授業を行うことで、子どもは学び方を身に付けていきます。

どの学習態度も共通して身に付けられるようにします。

## 最も大切なのは続けること！

学校には日々やるべきことがたくさんあります。リーフレットに示された内容を基に、学校の実態に応じて、何を「選択」「集中」し、やりきっていくのかを明確にして取組を進めてください。リーフレットの裏面は、そのことを考えるためのページです。

## 授業改革パイロット校事業 開始

## 今年度の実践研究推進校

「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業の定着・充実に向けた実践研究を推進するパイロット校事業を今年度より開始します。右の8か校が取組を始めています。各校の取組の様子は随時お知らせしていきます。

松浜 中学校	濁川 中学校	光晴 中学校	東新潟 中学校
東石山 中学校	新津第五 中学校	坂井輪 中学校	中之口 中学校